

都道府県名	石川県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	松任市立東明小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	2	2	2	2	2	3	16	24
児童数	81	68	69	56	73	58	4	409	

研究の概要

1. 研究主題

<p>「大切にしあえる仲間 活力ある児童をめざして」          —— 算数科を中心とした確かな学力を身に付けた子の育成 ——</p>
--

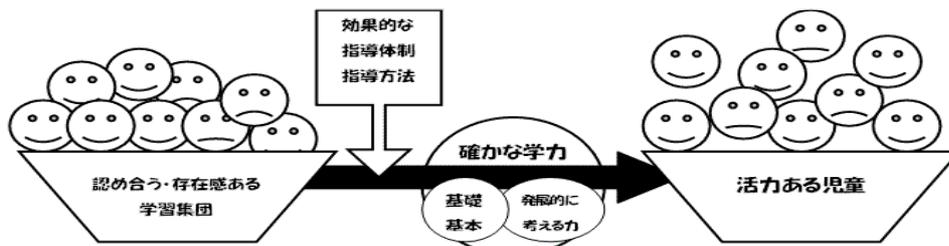
2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>1～6年、特殊学級 算数科          3～6年生は少人数による算数指導          1～2年生はT・Tによる算数指導          ・算数科は理解の状況に大きな差が出やすい教科であるため          ・高学年では教科内容や児童の実態に応じた指導体制・指導方法が、低学年では個に応じたきめ細かな支援が学力向上の重要なポイントであり、算数科はそれらを具現化しやすい教科であるため          ・全教員が指導に当たる算数科は、校内研究として得たものが共有化しやすく指導に生かしやすいため</p>
--

(2) 年次ごとの計画

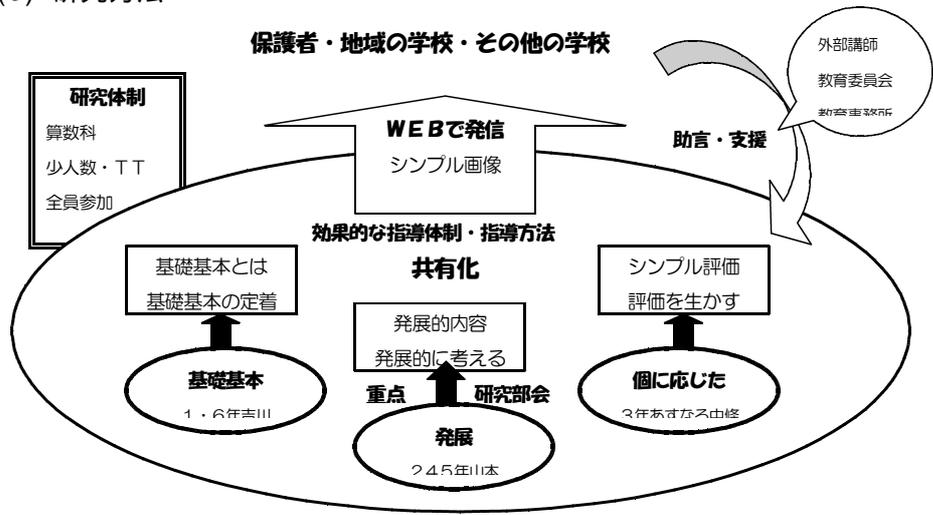
平成15年度	<p>テーマ          「大切にしあえる仲間 活力ある児童をめざして」          —— 算数科を中心とした確かな学力を身に付けた子の育成 ——</p> <p>研究の見通し          一人一人が認め合える学習集団を基盤にしながら、算数科を中心とした確かな学力を身に付けることで、学習に積極的に取り組んでいく児童の育成をめざす。今年度は、その指導体制や指導方法について深めていく研究とする。</p> <p>研究の内容・方法          (1) 研究の基本的なスタンス          ・一人一人の存在感のある学習集団が、確かな学力を支える。          ・確かな学力とは、基礎的・基本的な学習内容の定着を基にして、関心意欲、思考力・判断力、コミュニケーション能力などを含めた、発展的にも考えられる総合的な学力である。          ・確かな学力を身に付けた子どもの育成をめざして、指導体制と指導方法の改善のために研究するものとする。          ・少人数授業やT・Tの授業を行い、個に応じた評価や支援を考え、効果的な指導を考える。          ・これまで児童が身に付けてきた「伝え合う力」や「情報活用の実践力」を大切に授業づくりを進める。</p>
--------	--



( 図 - 1 )

- (2) 研究の重点  
 基礎・基本が身につく授業づくり  
 発展的に考える力を育てる授業づくり  
 個に応じるための評価を生かした授業づくり

(3) 研究方法



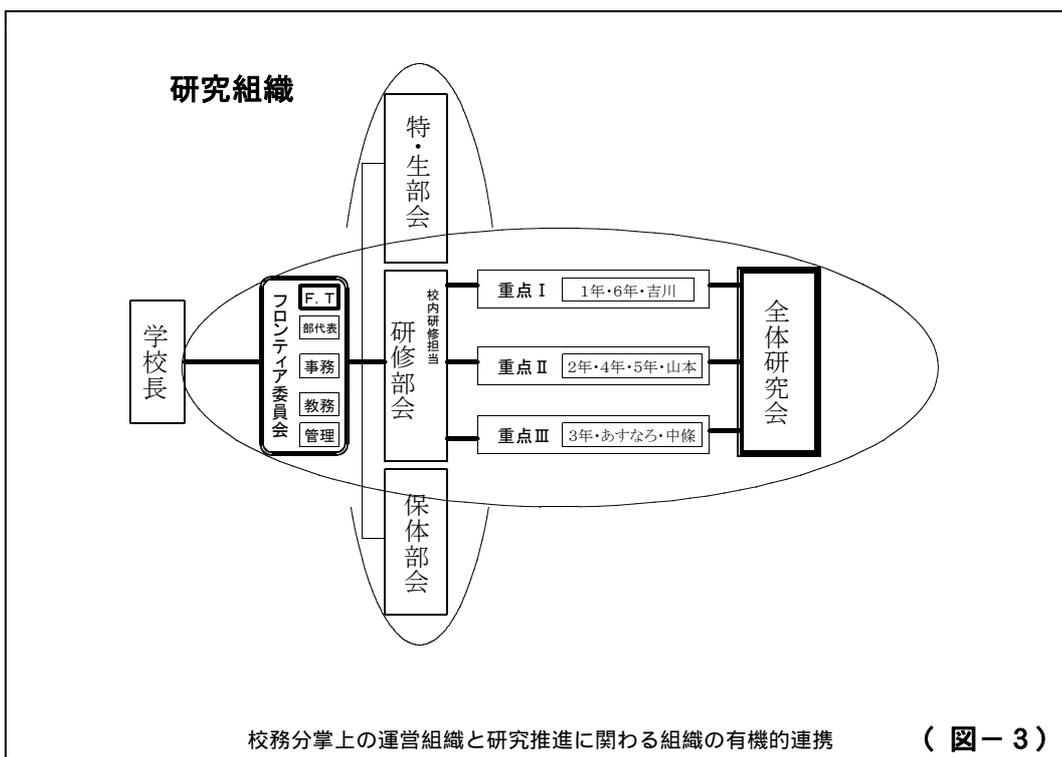
指導者の研究の主体性を高めるためにボトムアップの研究 指導体制や指導方法のコツをまわりに紹介

( 図 - 2 )

- (4) 効果的な指導体制・指導方法のための方策  
 打ち合わせの時間を時間割に明記し確保すること  
 指導案にA B評価規準(基準)を明記  
 朝学習の活用(読書の習慣・学びの姿勢)  
 画像の活用による効果的な情報交換

平成16年度	<p>テーマ          「大切にしたい仲間 活力ある児童をめざして」          算数科を中心とした確かな学力を身に付けた子の育成</p>
	<p>研究の見通し          一人一人が認め合える学習集団を基盤にしながら、算数科を中心とした確かな学力を身に付けることで、学習に積極的に取り組んでいく子ども達の育成をめざす。今年度は2年目にあたり、さらに個々の実態を客観的にとらえて、効果的具体的な授業づくりに心がける。その授業づくりから見えてくる指導体制・指導方法をさらに深めていく。</p> <p>研究の内容・方法          指導体制・指導方法 { 基礎・基本が身につく授業づくり          発展的に考える力を育てる授業づくり          個に応じるための評価を生かした授業づくり          研究方法については上記の( 図 - 2 )参照</p>

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

本年実施の意識調査から、算数の授業が楽しいと感じている児童の割合が高いことが分かる。また、児童の振り返りの記述でも楽しい学習の様子が分かるとともに、本年度の授業公開研究会でも、多くの参加者から児童が意欲的・追求的に学習していたとの評価を得ている。  
 子ども達の変容について具体的な分析はまだであるが、3つの重点部会を中心とした指導体制・指導方法の研究が効果的に働いている結果と考えている。

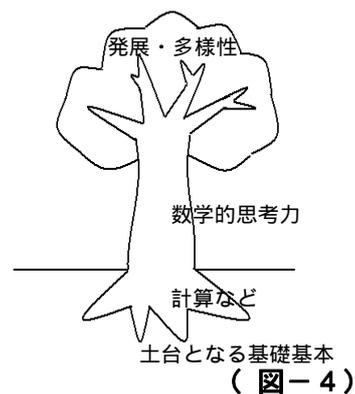
1. 基礎・基本が身につく授業づくり

- < 本校の基礎基本とは >
  - 全ての学習に必要な土台となる基礎基本
  - 算数の学習を進めるのに必要な計算能力
  - 及び、単元内容の基礎基本
  - 基礎基本としての数学的思考力

< 指導体制・指導方法の工夫 >

- わかる授業の工夫
  - ・操作活動・具体物を用いた活動
  - ・「手がかり」の提示
  - ・自己のペースで確実に理解
- 基礎基本の定着
  - ・朝学習の活用
  - ・意欲的主体的に練習するための課題の与え方
- 基本的思考力を育てる

- ・めあてをしっかりと持たせ、考える条件を整理した発問
- ・手がかりの提示
- ・個に応じた支援
- ・考える時間の確保
- ・考えを整理する力
- ・伝えることで思考力を伸長する場の設定



2. 発展的に考える力を育てる授業づくり

- < 本校の発展とは >
  - 発展的に考える力の伸長
  - ・既習を生かしながら、課題に柔軟に対応し解決していく力

- ・多様な考えを見つけ出す力
- ・具体的な場で学びを生かすことができる力
- 発展的な学習内容を取り入れるときの留意点
- ・既習を生かすことによって課題解決できるもの
- ・課題解決をすることで一層の基礎基本の定着が図られるもの
- ・学習内容に段階を設けたり個に応じた支援を講じたりすることで全児童へ取り入れる

< 指導体制・指導方法の工夫 >

- 関わりあう場を設定する ----- 説明する場の設定
- 学習環境を工夫する ----- 発展的な素材の掲示 発想を高める教具の常置
- 問題を作る場面を取り入れる ----- 学んだことを生かす問題づくり
- 既習を生かして課題を解決させるための工夫 ----- 既習の引き出し・ゲーム的な活動
- 課題・素材の設定の工夫 ----- 多様な解法の課題・意欲を喚起する素材・関わり場の場

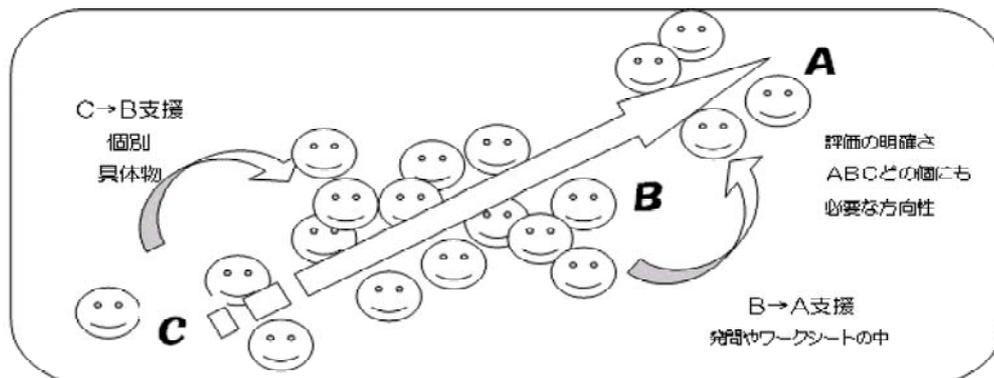
3. 個に応じるための評価を生かした授業づくり

< シンプルで継続できる評価方法 >

- 長期的な評価 ----- 目的の違いによる評価方法
- 単元に生かす評価 ----- 観点別 10 段階の自作の評価データづくり
- あすなるクラス ----- 座席表・名簿表での評価
- 丁寧で個の実態を見通せる記述評価

< 実態・評価を生かす具体的な授業づくり >

- 能力を分析的に考える
- ・授業設計を明確にし、個を具体的に捉え、自己評価の手がかりとする
- ・3種類的能力(知識・理解 表現・処理 思考・判断)を意識した授業づくり
- ・自己評価しやすい表現 --- わかる力・できる力・考える力
- A B の評価規準(基準)を明確に
- ・授業設計がシャープに ----- 個の支援が明確に



( 図-5 )

- 個に応じた指導体制 ----- 単元・領域に応じた学習グループ
- 個に応じたコース選択 ----- レディネステストを基にした個の希望でのコース選択
- 個に応じた指導方法 ----- 3つの能力を分析・意識して育てる
- 特殊学級 ----- 生活に生かせる数的・量的感覚を養う単元づくりとその支援

2. 今後の課題

各重点研究部会でのいくつかの成果と共に、課題も明確になってきている。また、県で実施の学力調査を基にした本校児童についての学力分析からも課題が見えてきている。これらのことから、下記の3点を課題とし、次年度へつなげていきたいと考えている。

1. 個や全体の学力を捉えるための客観的な調査のあり方
2. 客観的な調査結果を生かした、さらなる指導体制・指導方法の工夫
3. 3つの重点研究部の成果を全職員で共有し、活力ある児童と共に、活力ある教師集団をめざす

学力等把握のための学校としての取組

- 本校の学力等把握のための取り組みとして、次の2点がある
1. 児童の少人数算数の意識調査及び、県で実施の学力調査をもとに、本校児童の実態を把握し、全職員で共通理解する。
  2. 各単元指導において3つのテストを行い、個の変化を確認し、学力定着につなげる。  
 レディネステスト - コース選択を目的とした自己評価、個の習熟の確認  
 プレテスト ----- 最終テスト前に実施し、A規準を評価すると共に、B規準に満たない個への支援につなげる  
 最終テスト ----- プレテストと共に観点別にデータとして保存し、次や同領域の単元の指導に生かす

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- \* 公開研究会  
 平成15年12月5日(金)  
 地区学力向上推進委員会及び加配教員を対象とした事業と兼ねた公開授業を実施し、授業整理会等で研究成果の報告を行い、指導・助言を頂く。  
 平成16年12月3日(金)公開研究会  
 研究成果の普及を図るため、下記日程で授業公開研究会を開催予定  
 13:50~公開授業  
 14:45~授業整理会  
 15:35~研究概要説明  
 16:00~講演
- \* 研究成果普及のためのHP作成  
 本校のHPにフロンティアのページを設定し、研究の概要及び、重点研究部で考察された指導体制や指導方法を公開する。「ちょっとしたコツ」や画像を多用し、誰でもが取り入れられるよう、具体的な内容提示に工夫した。  
 また、今後サイトを通じての意見交換を進めていく予定である。  
<http://www.toumei-e.matto.ed.jp/>
- \* フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績  
 ・地区協議会、公開研究会・協議会等の参加を通じた実践の相互交流  
 ・他県のフロンティア校等との交流  
 フロンティアティーチャーであり、しかも図書館教育に力を入れ、全校に司書が配置されている本市の司書教諭という立場から、鳥取県三朝町立西小学校に講師として要請され、本校の実践について紹介すると共に、西小学校の研究の成果や課題について意見交換し、その成果を本校の研究に還元する。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校
- 【学校規模】  6学級以下  7~12学級  
 13~18学級  19~24学級  
 25学級以上
- 【指導体制】  少人数指導 一部教科担任制  T・Tによる指導  
 その他
- 【研究教科】  国語  社会  算数  理科  
 生活  音楽  図画工作  家庭  
 体育  その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無